

aprilia
RACING

ニュースリリース PGJPR25-001

メディア関係者 各位

2025年1月15日
ピアッジオグループジャパン株式会社

アプリリア・トゥアレグがアフリカ・エコ・レースを2年連続で総合優勝の快挙

ヤコポ・チェルッティ選手が昨年に続き2025年アフリカ・エコ・レースのチャンピオンに輝き、
マルコ・メニキーニ選手が25歳以下クラスで優勝



2025年1月12日 ミラノー 2025年のアフリカ・エコ・レースは、最終セクションまで白熱したスリリングなレース展開の中、ヤコポ・チェルッティとチーム・アプリリア・トゥアレグ・レーシングが主導的な役割を果たし、2年連続のタイトルを獲得して閉幕しました。

第16回アフリカ・エコ・レースは、モロッコ、モーリタニア、セネガルの息を呑むような景観を縦断しながら、約6,000kmに渡りライダーとバイクに困難な試練を課す過酷なルートで、今回のリザルトにより参戦した3台のアプリリアトゥアレグ ラリーの卓越した性能を証明しました。

ヤコポ・チェルッティは、チャンピオンとしての自覚と決意でレースに挑み、複雑なコース設定や難しい地形などの物理的な困難と、リアタイヤがリムから脱落するトラブルや、ナビゲーションシステムが作動しないといった技術的な問題など、数多くの課題に直面しました。それでもかかわらず、チェルッティは最後の1キロメートル

aprilia

RACING

までタイトルをあきらめることなく、5つのステージ優勝と2つの表彰台を獲得し、ア普リリア・トゥアレグ・ラリーでの並外れたパフォーマンスによって困難を克服しました。

フランチェスコ・モンタナリは、2025年大会では着実に成長した走りをと安定性を示し、アフリカ・エコ・レースでの初のステージ優勝と計3回の表彰台を獲得した彼のパフォーマンスは、アフリカラリーのスターの一人としての地位を確固たるものにして無事にレースを終えました。

今回トゥアレグでのデビューとなったマルコ・メニキーニは、ジュニア25歳以下クラスで優勝し、マルチシリンダークラスでも3位を獲得。アフリカ・エコ・レースにおけるチームア普リリアトゥアレグレーシングにさらに1つのトロフィーを加え、総合6位に輝いたパフォーマンスは、彼にとって最良の結果となりました。

この2年連続のタイトル獲得とすべてのライダーが達成した結果は、大規模なラリーレイド競技におけるア普リリア・トゥアレグ・ラリーが絶対的な基準としての地位を確立したと言えるでしょう。この大会の最も象徴的なシーンは、タイヤトラブルによりリアホイールのリムだけで第6ステージのゴールに到着したときのもので、その粘り強い精神力に心打たれる光景でした。

グアレスキ兄弟のG Corseとのコラボレーションで開発されたトゥアレグ・ラリーは、適切なチューニングにより昨年に比べて大きな進歩を遂げ、メツゼラーとのパートナーシップによってさらに確固たるものとなり、アフリカ・エコ・レースのような過酷なラリー競技において、その多用途性、信頼性、パフォーマンスを証明しました。

改めてチームグアレスキのたゆまぬ努力と、この夢の実現に協力いただいたパートナーであるMetzeler、SC Project、Acerbis、RK Chain、Jet Prime、Alpina、Andreani、CHT Chiaravalliに心より感謝申し上げます。



aprilia

RACING



ヤコポ・チェルッティのコメント

「とても多くの困難に直面したにもかかわらず、最高の形で終えることができました。あまりミスもせずに上手く乗れたと思います。転倒もなく、一貫して集中力を維持することができました。自分のライディングスタイルと、トゥアレグ・ラリーのパフォーマンスのおかげで、砂地では大きなアドバンテージがあり、それを最大限に活かすことができました。戦略が重要なレースなので、最後の2日間は自分でも不可能だと思っていたが、なんとか達成できました。砂丘で逃げる事が出来るとわかったとき、自分を信じて100%の力を出し切りました。素晴らしい仕事をしてくれたチームメイトのチエッコとマルコにも心から感謝しています。チームのメンバー全員には感謝しきれません。彼らは非常に献身的にこの競争力の高いトゥアレグラリーを私に与えてくれました。また、アレッサンドロ・ボットウーリにも祝福したいです。彼のような相手と最後まで戦えたことは素晴らしいでした。」



フランチェスコ・モンタナーリのコメント

「この2025年のレースには本当に満足しています。最初の週は、私は常に先頭を争っていました。それはともスリリングで、たくさんの経験を積むことができました。その後の難しいステージは、多くのことを学べました。最終的に、第8ステージでステージ優勝を果たしました。ミスをすることなくうまく走れた完璧な一日でした。この功績は、バイクに乗った私だけでなく、素晴らしい仕事をしたチーム全員のおかげです。そして本当にすごい最後の2日間で、直接のライバルとの差を縮めたヤコポを祝福します。マルコにも彼の素晴らしい成果に拍手を送ります。」

aprilia

RACING



マルコ・メニキーニのコメント

「非常にスリリングなレースでした。私のレースは試練から始まり、初日にクラッシュしましたが、幸いなことに影響はありませんでした。さらにウイルスに感染してしまい、100%の状態ではありませんでした。それでも、2週目のモーリタニアでは絶好調でした。素晴らしい仕事をしてくれたグアレスキチームには本当に感謝しています。トゥアレグ・ラリーは素晴らしい、最高の気分でした。最終的に総合6位、ジュニアクラス1位、マルチシリンダークラス3位という結果に本当に満足しています。そしてチームメイトにも心から祝福したいと思います。」

ヴィットリアーノ・グアレスキ: G Corse のコメント

「私たちは、この2025年の結果に本当に満足しています。これは私たちのチームとトゥアレグ・ラリーがいかに強いかを裏付ける事になったでしょう。全員100%の力を出し、ヤコポはあらゆる困難に強い気持ちで立ち向かう並外れたチャンピオンであることを改めて証明しました。そしてモンタナーリは驚くほど成長し、トゥアレグでのデビューを果たしたマルコは素晴らしい才能があることを示しました。」

ア普リリアレーシング、オフロードレースから築き上げた伝説

ア普リリアがレーシング界でのデビューを飾ったのは、1970年代にスカラベオのようなオフロードモデルを生産していたオフロードレースからでした。1974年に製造された初代レーシングモーターサイクルは125ccクロスでした。1977年には125ccと250ccの両カテゴリーで初のタイトルを獲得。1978年には、モトクロス選手権の表彰台に上り、脚光を浴びました。ア普リリアレーシングは、1985年にロードレース世界選手権へ進出し、1992年に初の選手権タイトルを獲得。オフロードレースの世界では、2004年～2011年にかけて2気筒のSXV 450と550がライダー部門で3回、メーカー部門で4回のスーパーMoto選手権タイトルを獲得し、7個の世界選手権タイトルを獲得しました。

1989年にトゥアレグでパリ-ダカールラリーに初参戦した後、ア普リリアは2010年に革新的なRXVラリー450ツインで偉大な砂漠のレースに復帰し、2010年から2012年まで3年連続でダカールラリーに参戦しました。壮大なラリーで、ア普リリアは2010年に3回のステージ優勝と総合3位を獲得しています。そして2024年にアフリカの砂漠を舞台にしたアドベンチャーラリーに復帰。トゥアレグ660を使用し、6,000kmを超えるレースの最初から最後まで総合順位でトップを走り、このイタリア製オフロードバイクの性能の高さを証明して見せました。

◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアッジオグループジャパン株式会社
〒108-0073 東京都港区芝2-12-10 タカナミビル1F

○ PRマーケティング: 河野 僚太 (こうのりょうた)
E-Mail press@piaggio.co.jp
代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868